



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

第16回 OECD／Japanセミナー

希望の教育

～東北の創造的復興教育の取組から～

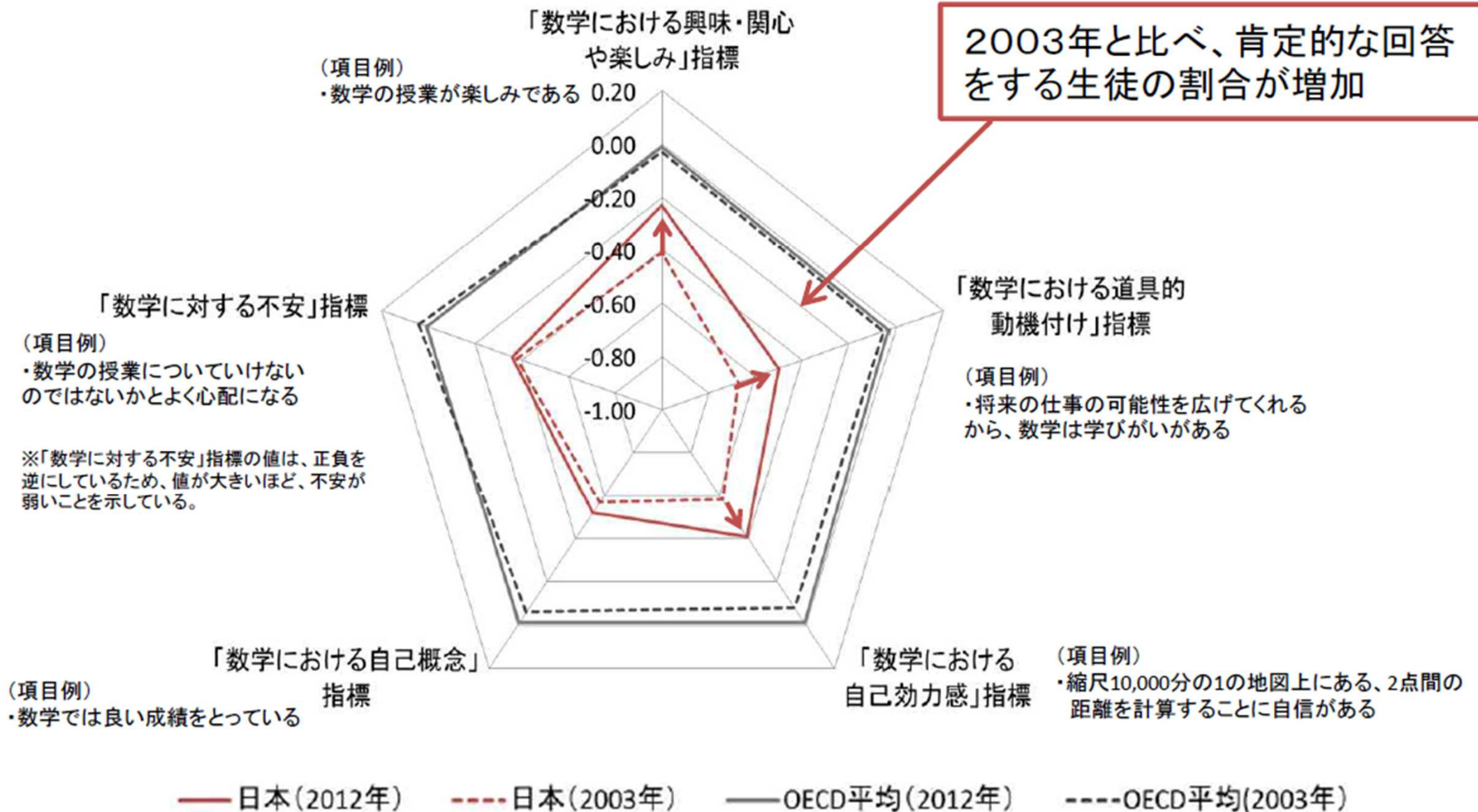
平成26年2月9日

文部科学省 初等中等教育局長

前川 喜平

数学的リテラシーに影響を与える学習意欲等の変化(PISA2012より)

数学における興味・関心や楽しみ、数学における道具的動機付け、数学における自己効力感の3つの指標において肯定的な回答が有意に増加



○ 避難所となった学校で教員が果たした大きな役割

○ 学校再開と地域の関係

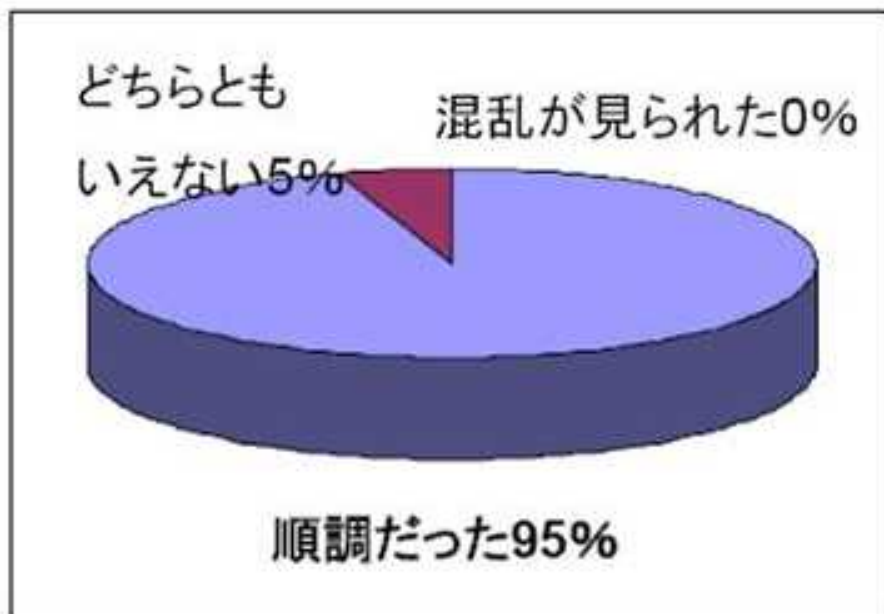
福島県大熊町では学校を中心にコミュニティを維持

○ 「地域とともにある学校」が緊急時にも機能

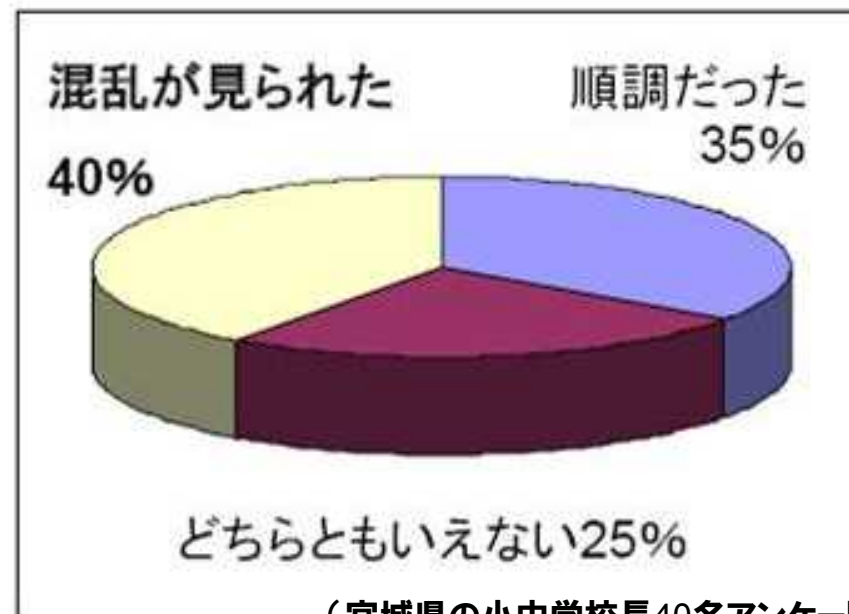
○ 一方、かねてから抱えていた学校や地域の課題が顕在化

Q 避難所において自治組織が立ち上がる過程は順調だったか。(校長)

(学校支援地域本部設置20校)



(学校支援地域本部未設置20校)



(宮城県の小中学校長40名アンケートより)

いわき生徒会長サミット（福島県いわき市）

20～30年後のいわき市を担うリーダー育成をめざし、全中学校生徒会長が密に協働。卒業後もシニア生徒会長として継続参加。



（主な取組）

- 広島、長崎、韓国、米国への生徒派遣。外の視点を獲得するとともにふるさとの復興を発信
- 震災時に支援を頂いたタイの僻地に募金で学校建設に協力
- グローバル企業の経営者22名とのリーダーシップ研修
- 全国生徒会サミット、OECD東北スクール等の舞台への参画

コラボスクール 女川向学館、大槌臨学舎(NPOカタリバ)

震災の影響で放課後の居場所を失った子どもたちのために、行政・保護者・町民・NPOなど、地域みんなで創り上げる放課後の教育施設。学校のキャリア教育(職場体験、修学旅行内体験学習)も支援。



2011年6月
居場所がなく、仮設住宅の脇の路上で
ねそべり勉強する子ども

**女川町の町全体の中学生 6割/小学生 3割、
大槌町の中学生 7割が通う**

**学力の定着と
居場所機能**



**地域の
課題解決ワーク**



**高校生
町ガイド**



**グローバル企業
での職場体験**



**震災で失ったものに対する気持ちをバネに、
新しい時代をつくる当事者へ**

「女川の教育を考える会」への発展

- 教育委員会、地域の小中学校、住民、NPOが一緒になって、地域の未来の教育を検討し、実行する場として設立。
- 9つの部会にわかれ、各部会の会長は小中学校の教員が務める。すべての分科会に有識者、NPOらがメンバーとして参加。
- 教員が地域の課題に向き合い、自立・協働・創造の学びを実践する場。

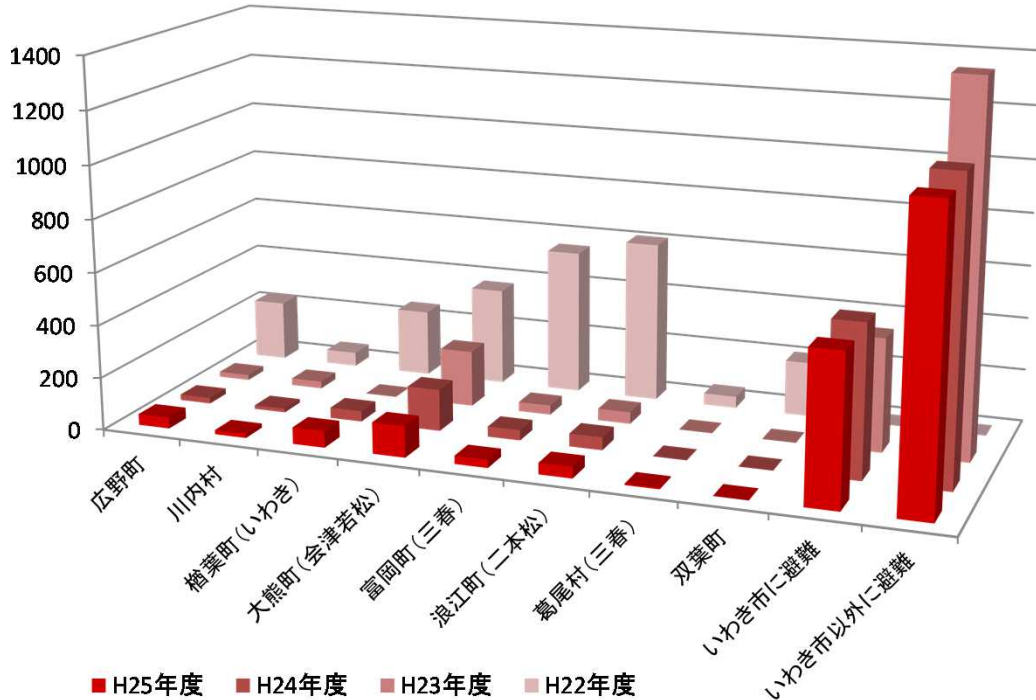
第1部会	学校経営・管理部会
第2部会	志教育推進部会 ※宮城県が推進するキャリア教育
第3部会	学力向上推進部会
第4部会	体力向上・健康増進推進部会
第5部会	いじめ、不登校、生徒指導、心のケア等、心の教育・道徳推進部会
第6部会	危機管理、防災・減災教育の推進部会
第7部会	特別支援教育推進部会
第8部会	生涯学習・協働教育推進部会
第9部会	スポーツ・体力づくり推進部会

福島県双葉郡教育復興ビジョン

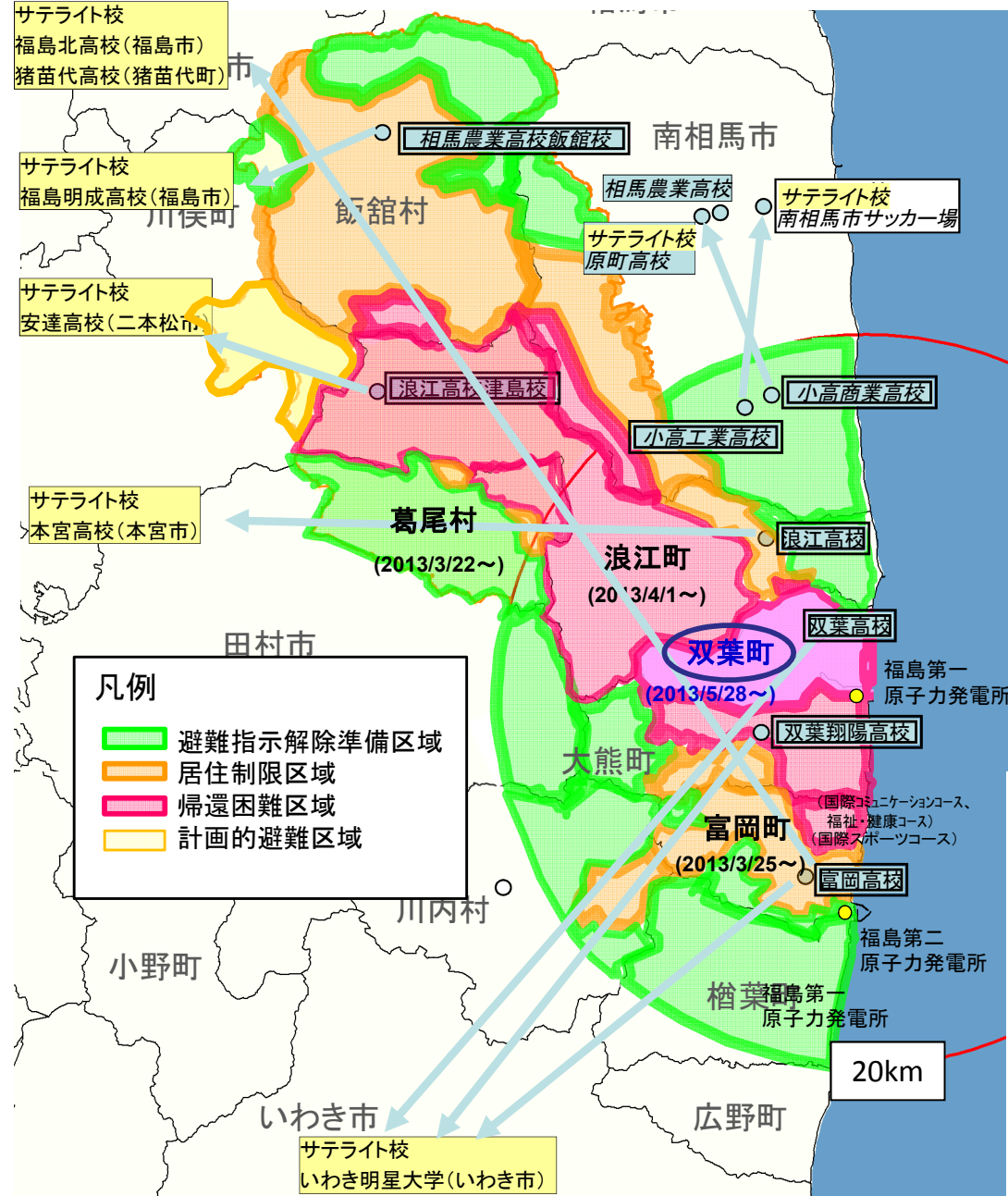
郡内の学校への就学割合

- 幼稚園 9.1 %
- 小学校 11.5 %
- 中学校 13.9 %
- 高校 26.8 % (移転開校先への就学含む)

郡内の中学への就学人数の推移



郡内の高等学校の避難状況



※原子力災害対策本部決定(平成25年5月7日)による避難指示区域及び警戒区域の見直し(双葉町)

福島県双葉郡教育復興ビジョン（将来像）のイメージ図

- 双葉郡の復興や持続可能な地域づくりに貢献し、全国や世界で活躍できる人材を育成
- 子供たちの実践的な学びで地域を活性化し、復興につなげる

双葉郡教育復興の基本的方針

- ① 震災・原発事故からの教訓を生かした、双葉郡ならではの魅力的な教育を推進
- ② 双葉郡の復興や、持続可能な地域づくりに貢献できる「強さ」を持った人材を育成
- ③ 全国に避難している子供たちも双葉郡の子であるという考えのもと、教育を中心として双葉郡の絆を強化
- ④ 子供たちの実践的な学びが地域の活性化にもつなげる、教育と地域復興の相乗効果の創出
- ⑤ 双葉郡から新しい教育を創り出し、県内・全国へ波及

各学校段階を通じて一貫した価値観の教育目標とカリキュラムによる教育

長期的に双葉郡の復興を担うことに加えて、全国や世界に貢献できる人材を育成
 課題解決型学習（アクティブラーニング）や海外留学を導入し、主体的に学ぶ力や、思考力、実践力等を育む

各学校段階を通じて一貫した教育
 中高一貫教育

大学等との連携・進学

復興学科等における一貫した価値観を共有した人材育成

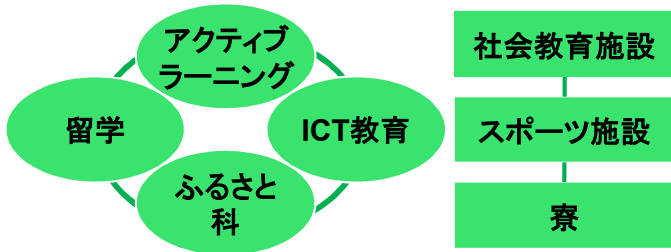
人材育成のビジョンを共有したうえで、双葉郡の教育に協力

※ 全国や海外の多様な分野の大学進学や、技術者としての就職など幅広い進路を想定

推薦枠や入試選考基準の転換

中高一貫校の設置

双葉郡内に進学先となる高校と、6か年を効果的に活用することを目的に、併設型中高一貫校を設置



避難している子供たちの受け皿となる幼稚園・小学校の整備

将来的には、多数の子供たちが区域外就学している地区や郡内の低線量地区に、受け皿となる幼稚園・小学校を設置する方向で検討
 ※ 既存の町村立学校に配慮

学校と地域コミュニティの連携

学校を地域コミュニティの核と位置づけ、教育と地域復興の相乗効果を創出

企業・NPO等との連携

双葉郡の産業づくりとも関連した人的・財政的支援を実施

避難している子供たちや住民との絆づくり

区域外就学している子供たちへの連絡機能を強化するとともに、再会の集いなどの絆づくり・場づくりを定期的・継続的に実施
 ※ 子供たちが実践的な学びとして企画・実施

各町村立幼小中学校間の連携

各町村立学校間での相互受入れを検討。中高一貫校との連携

※ 双葉郡8町村・県・国・大学等による協議体で推進、福島県・国による支援